

文約一千部ヲ發行市内各所ニ配布或ハ檄布セリ

四、争議團員検査

三、輪營業所結車掌加藤清太郎當三十六年八月五日午後十時半頃三、輪車庫附近ニ於テ泥解宣験セルヲ以テ現場警戒中、坂本署員ニ於テ之ヲ検査セリ

尚争議發生以來檢査者ハ僅二名ニ過キス何レモ泥解省ナリ

✓五、横濱市電當局ヨリ應援員派遣

横濱市電當局ニ在リテハ、東京市電當局ノ依頼ニ應シ本ヨリ監督員二十名ヲ來援セシメタリ

以上

別記

檄

東京市電氣局に横たはる赤字政の根本的解決問題は遠か九年から未だベキ運命的問題であつてその根本的解決には、全従業員にも若干の犠牲の負担が免れ得ないものであることは吾人もまた之を了解するものである。

然るに今回抜々行動に發表されたる市電當局の整理案等のものを見ると、従業員の收入四割五分乃至五割を一擧に奪ひ去らんとするものであり、従業員として市電政建設直しのため如何に犠牲的精神を以て考慮せんとするも、デンデ頭から問題に立ちぬ殺入的整理案であつて、吾人の絶対的に対する抗議を得ざるものである。

日本主義の大精神に立脚して國內改造の達成を期する吾人は、マルクス、レーニン主義及ばざの並流なる左翼社會民主主義を絶対に排斥し、階級斗争第一主義を徹底的に否認して國家産業第一主義を絶叫するものである。然して吾人の叫ぶ國家産業第一主義は、産業労働者の人間としての生活安定を基礎的第一條件とするものである。産業労働者の生活確保が躍躍と川下何處に産業の發展と國家の興隆が期待されか。

然るに今回の市電整理案なるものは、財團の利益擁護を第一義として従業労働者には血を涙もない非日本的の極悪なるものである。

吾人は茲に聲をならして市電整理案當牛へしを絶對才と共に、全従業員諸君に対して、諸君が明確に日本主義、國家産業第一主義の精神に立脚し、愛國的産業労働者の生活権擁護のため断々争として殺人の市電整理案粉碎のため勇敢に敵本机人ことを要望して止むざるものである。